

大阪工業大学 應援團 團報



発行所 大阪工業大学 應援團 発行責任者 鈴木秀典 編集責任者 野間大輔 〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16番1号 TEL (06) 6951-1552

團報 第四十五号

祝入学

大学歌

竹友録風作詞 信時 潔作曲

産業の意図なくもしく 都の力あつて 築き上げたる工学と 仰げ雲霧晴れわたる 生駒の山の高し 新生の道ひらけ行く 国土の命けなざりて 望みゆけり工学も 歌之広野に大淀の 堤をあらう水清し



第三十八代團長挨拶 大阪工業大学 應援團 團長 鈴木秀典

新入生諸君、入学おめでとう。期待と希望を胸に秘めた大学生生活も早や二月、大学生活にも慣れそれゆとりが出て来た頃と思う。又、高校とは違いあまり制約される事が無く「自由」を満喫している者もいるかも知れない。ただし自由とは、自己責任で行動する事で、個人主義でわがままな自分勝手な行動をとる事ではない。

しかし、ただ何も考える事なく日々を過ごすだけなら、それに付きもせず、何も会得できずに卒業を迎える事になる。そうなら無い為にも自ら進んで学んで行くという意識を持たなければならぬ。その上でこれからの自分の人生に於いて必要な技術は何であるか自覚し、それを磨く事が出来る場を見付けるのである。

確かに何かを新たに始めるのは多少迷ったり、困惑すると思うが勇気を持ってどこかのクラブに見学に行く事から始めてはどうだろうか。必ずそのクラブを深く理解できるであろうし、先輩方から貴重な話を聞けるだろう。それだけでも良い体験ができ、自分のこれからの人生の目標のヒントになるであろう。

ところが、今の学生を見ると、大学に籍を置いている意義すら感じていないと思えて仕方ない。大学では今までは無かった事を学び、社会人になる為の準備をする場でもあり、学問を勉強するだけではない。社会で学問を活かそうと思えば、目的を考え、目標を立ててそれに向かいつつどの様な行動を取るか考えなければいけない。

優れた点はそのクラブによっても異なるが、上下関係や同回生、他クラブの学生との関わりといった人間関係を始め、共通の目標に向かって全員で協力し合う事など生活をしていく上で重要な事を基本にしている。又、上回生になって部長や会計、主務といった責任を負う事でより成長を望めるだろう。

最後に大学生活を充実したものにすべく努力を律し、己を磨き高めていく努力が大切である。又、大阪工業大学の学生である事に誇りを持って、社会で恥じるような振舞いをせず、堂々と胸を張って歩ける様にしたい。そして、四年後社会で大学生活で得たものを遺憾なく発揮する事を切に願う。



「應援團の活躍を期待して」 大阪工業大学 学長 (第十代) 学長 西川 禕一

大阪工業大学は昨秋創立五〇周年を迎えたので、二〇〇〇年度は第二半世紀の最初の学年ということになります。わが国は第二次世界大戦後の荒廃から見事な立ち直りを見せ、世界中から二十世紀の奇蹟とも賞賛されました。その奇蹟を実現したについては、科学技術の研究開発を積極的に進め、その成果を産業技術として巧みに利用したことが、何と言っても第一に挙げられます。その復興の年代は本学の第一半世紀と重なり合う年代であり、現代産業技術の発達に果たした本学とその卒業生達の功績は大いに誇りとしてよいでありましょう。

ローバルな競争的経済市場が実現しつつあるということ、特に近年のコンピュータ・ネットワークの普及によって多様な情報技術(ICT)の影響が著しく増大し、産業構造や企業経営、さらには市民生活、教育・学習などのあらゆる面で急速な変化が起こりつつあるということ、そういったことを意味すると言えましょう。

対する自らの基本的な考え方、それは新しい世界文明に対する「哲学」と言ってもよいでしょうが、それを明確にしておくことです。二十一世紀の産業技術は、自然環境や生態系と共生し、調和できる健全な人類社会の構築を目指すなければなりません。そのことは、二十世紀文明の生み出した負の遺産を清算するために、われわれに求められている強い要請です。顧みるに、わが国を含む東洋の伝統的な文明は、自然を愛し自然と調和する心情を内包しているものであり、それが真のスポーツマンシップの拠り所であるはずで

輝かしい歴史と伝統の上に立つて、われわれはこれからの第二半世紀、それはまた学生諸君が活躍する二十一世紀の前半と殆ど重なる訳ですが、その未来に如何に臨むべきか、それを改めて考えてみたいと思えます。

急速に変化し拡がりつつあるグローバル・マーケットの中で、われわれはもろろん競争に勝ち抜かねばなりません。そのためには、科学技術の基礎をより確りと固め、次々とイノベーションを創出して世界をリードする、そういった覚悟がぜひとも必要です。ところでその際忘れてならないことは、未来の科学技術や産業経済に

ら、その根底に人類どうしの、また人類と生態系との共生と調和の精神を踏まえた潤いのあるものであるべきでしょう。近代欧米文明とわが国の伝統的な文明との融合、そこからわれわれは新世紀の世界文明を築いていきたい、それに役立つ科学技術を研究し開発していきたいという思いです。

セットメニューあります 長崎ちゃんぽん・長崎皿うどん・ギョーザ ボリュームたっぷり華竹味 華竹 TEL. 6957-3686 大阪市旭区中宮5丁目6-12

ご入学・ご結婚・お誕生日のお祝いやお仏花等 景花園 TEL/FAX 06-6953-0313 (自宅) 6952-6984 大阪市旭区大宮4丁目8-18 本ハイイツ103号

WELCOM ABOARD! AMERICAN COUNTRY BAR TEXAS 千林2丁目16-8 06-6957-7468

露天風呂・サウナ風呂・薬草・水風呂 電気風呂・超音波風呂・泡風呂 毎日朝6:30~深夜2:00 朝風呂 年中無休 駐車場あり 神徳温泉 TEL. 6951-2463

### 春季合宿 (白浜セミナーハウス)

二回生 田畑将広

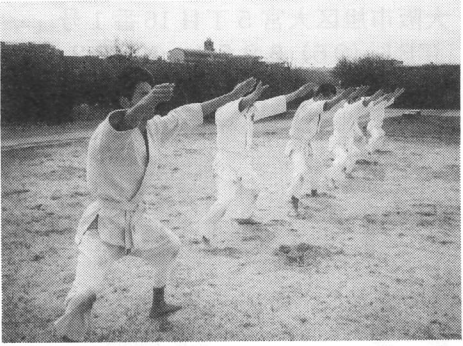
我々大阪工業大学應援團は、去  
る三月二十日から三十一日までの  
間、和歌山県西牟婁郡白浜町で  
春季合宿を行った。

白浜という、アドベンチャー  
ワールドや温泉、美しい海岸など  
を思い浮かべるが、その白浜に我  
が大阪工業大学のセミナーハウス  
「白浜の家」があるのを、存知  
だろうか。今回は、そこで空手道  
部との合宿を行った。

応援団の合宿は、一年間に夏と  
春の二度あり、体力強化等の稽古  
をする以外にも礼儀や規律の徹底  
という目的もある。今回は、十日  
という長丁場であるので、その  
多気込みは前回の夏季合宿より  
多かった。

合宿の一日は、早朝五時三分  
に起床することから始まる。そし  
て、六時からの早朝稽古では、強  
い風が吹くを約六キロ先の三  
段壁までのランニングから始まり  
白良浜で入念な柔軟、発声、四肢  
立ちなどを行う。そして、午前の  
稽古では早朝稽古の内容に加え  
て、腕立てや腹筋の体力増強を行  
う。自分は体力には自信がなかつ  
たので、ついでにのびのびとや  
あつたが精一杯声を出し頑張っ  
た。同じような稽古を繰り返す  
日々が数日続いた。途中、我々と  
同じく白浜海の家で合宿している  
道部との合同稽古を行い、  
ビーチフラッグや腕立て、腹  
筋、背筋等を組み合わせたサー  
キットトレーニングを主とした稽  
古を行った。普段は、空手部との  
合同稽古を行うこと  
が少ないので少々違和  
感があったが、いつも  
と違った雰囲気稽古  
は新鮮なものであつ  
た。

合宿後半からは、正  
装(学生服)に着替  
えて、応援を前提とし  
稽古の中で応援団の歌  
や型の稽古と、リー  
ダー部、旗手部、ブラ  
スバンド部に分かれて  
各部の専門を強化する



### 工大新二号館完成間近

みなさんも御存じの通り、只今  
二号館の建て替え工事を行って  
いる。今年の七月末に完成する予  
定であり、その後は引き続き一号館  
の建て替え工事に着手する予定で  
ある。

新二号館は地上五階、地下一階  
建てである。地下には、約六十台  
の駐車スペースと倉庫があり、一  
階には医務室、守衛室、自転車置  
場などがある。二階には一般教育  
科の研究室、実験室など、三・  
四・五階には講義室などをそれぞれ  
配置する。続いて建て替えられ  
る一号館が完成するまでの間は、  
一階の一部分と三階に仮設の研究  
室、実験室などを設置するが、一  
号館完成後は教室数は十三室と  
なる。エレベーター一基を備え  
二・三・四階から東側には三号館  
への、西側には七号館への連絡用  
通路をそれぞれ設置する。各所に  
点字ブロックを配置し、身体障害  
者用駐車スペース、トイレを設け  
るなど、体の不自由な人の利用に  
も配慮している。以前の二号館と  
比べるとこれらの設備が充実して  
おり、より一層使いやすくなる。

大阪工業大学 活動結果報告  
平成十一年度

- 十月二日(土) 漕艇部 新艇命名式参加 (於: 総合体育館前)
- 十月四日(月) 茶道部 月見茶会参加 (於: 総合部室センター)
- 十月十日(火) 文化音楽系クラブ 第三十五回音楽祭鑑賞 (於: 六十周年記念館)
- 十月三十日(土) 第四十四号團報「押忍」発行 (於: 総合部室センター)
- 十一月三日(水) 学園祭 (至: 大東洋)
- 十一月四日(木) 硬式野球部 一部II部入れ替え戦 対大阪二対三で工大快勝 (於: 住之江球場)
- 十一月七日(日)・十三日(土) アイスホッケー部 関西学生アイスホッケーリーグ戦 対市大 四対一で工大快勝 対阪大 一対一で引き分け (於: 大阪球場スケートリンク)
- 十一月十三日(土) クラシックギター部
- 十一月二日(土) 定期演奏会鑑賞 (於: 守口文化センター)
- 十一月十七日(水) マンドリン部 定期演奏会鑑賞 (於: 森ノ宮ビロテイホール)
- 十一月二十日(土) アイスホッケー部 関西学生アイスホッケーリーグ戦 対府大 四対一で工大快勝 対阪大 一対一で引き分け (於: 大阪球場スケートリンク)
- 十一月二十七日(土) 幹部交代式 (至: 大東洋)
- 十一月二十八日(日) ウィンドアンサンブル 定期演奏会鑑賞 (於: 森ノ宮青少年会館文化ホール)
- 三月十八日(土) 卒業式参加 (国歌・大学歌斉唱) (於: 総合体育館)
- 三月二十一日(火)・二十日(木) 平成十一年度春季合宿 (至: 和歌山県白浜町)
- 四月六日(木) 入学式参加 (国歌・大学歌斉唱) (於: 総合体育館)

### スポーツライント

#### アイスホッケー部I部リーグへの道

我が校のアイスホッケー部が、  
去年の秋、秋季リーグ戦で見事優  
勝し、念願のI部昇格を果たした。  
アイスホッケー部は、三年前ま  
ではIII部リーグであったが、以来  
III部リーグで優勝してからは毎年  
II部リーグで優勝し続けてきた。一昨年  
II部リーグで優勝した時には無  
敗で優勝を決め、I部の最下位関  
西学院大学とI部II部入れ替え戦  
を行った。我が校は、引き分ける  
ことも許されなかった状況の中、一対  
二で惜敗した。けれども、試合の  
内容は良く、I部の相手と互角に  
戦えるという実力は証明された。  
そして昨年は、前年のI部リーグ  
に昇格できなかった悔しさを胸に  
秘め、再びII部リーグの優勝を目  
指したが、一昨年同様勝ち続けるこ  
とができず苦戦を強いられた。だ  
が、後半は段々と調子を上げてい  
き、四大学で優勝を争う優勝決定  
戦へと進んだ。その初戦、我が校  
は自分達のペースを作る事ができ  
ず引き分けた。これで後がなくな  
ったのだが、続く二戦目は圧  
勝。そして迎えた最終戦。相手の  
大阪府立大学は全勝していたの  
で、勝つしかなかった。昨季は、  
この時点でI部リーグの枠が一つ  
空いており、勝者がI部と昇格す  
るという試合になった。そんなブ  
レッシングの中、試合に集中して  
いた工大が先制。それから我が校  
の圧倒的な攻めが続き、遂に勝利  
を収めた。この瞬間、我が校のI  
部昇格が決まり、アイスホッケー  
部の選手、応援していた者は歓喜  
に震えた。

アイスホッケー部では、創立四  
十四年で初めてI部に昇格するこ  
うな快挙であった。今後も、アイ  
スホッケー部の更なる躍進とI部  
リーグでの活躍に期待している。

去る平成十一年八月八日、大阪  
市中央体育館で行われた第十回  
全日本セーフティ空手道大会、一  
般有級の部、中量級(六十二〜七  
十キログラム)で工大II部空手道  
部の松葉一宏選手(IIK4)が優  
勝を果たした。  
セーフティ空手道とは、防具を  
付け、ローキックなしという安全  
面を重視したルールで、制限時間  
二分間、決勝は三分間)に獲得ポ  
イントを競う試合である。この  
一回戦から決勝までの全試合を  
行ったため、日頃の稽古の成果を怪  
訝なく発揮するが、勝利への要  
となる。今大会は、優勝候補の昨  
年の優勝者である社会人の鳥山選  
手が、一回戦敗退という波乱が起  
こり、混戦となった。松葉選手は  
確実にポイントを重ねて、優  
勝という素晴らしい結果を残した  
のである。  
現在、松葉選手は後輩の指導に  
熱心に取り組んでいるので、次回  
の大会では松葉選手に続いて、後  
輩達には良い試合をして、結果を  
残せる事を期待する。

国内屈指の学生棋士が盤上で  
争うキリンビバレッジカップ(第  
三回学生対抗将棋選手権) (日本  
将棋連盟主催) が三月三十一日に  
大阪で開催され、個人戦に於いて  
工大将棋部の嶋田裕介選手(1B  
2) が見事優勝を果たした。  
今大会の個人戦には関東・関西  
勢を中心に、あらかじめ行われた  
約二百人による予選を勝ち抜いた  
精鋭十六人が出場し、トーナメン  
ト方式により、盤上でのしを削  
り合う熱い戦いが繰り広げられ  
た。出場者のほとんどが大学生で  
あつたが、小学生が大学生を破る  
という快挙も見られた。嶋田選手  
は東京大学や京都大学の学生を相  
手に順当に勝ち昇り、決勝戦で明  
治大学の二回生(当時一回生) 清  
水上徹選手を破り見事優勝した。  
今回の優勝を機に嶋田選手をは  
じめ将棋部の活躍に期待したい。

### 各部活動結果報告

- アイスホッケー部 三月二十日 全大阪大学アイスホッケー選手権大会 対摂南大 六対二で工大勝利 (於: 大阪アイススケートリンク)
- 三月二十六日・四月二日・九日 第四十回関西学生アーチェリーリーグ戦 リーク戦 対京都府立大学 勝利 (於: 立命館大学)
- 対京都府立大学 惜敗 (於: 京都大学)
- 対大阪外国語大学 惜敗 (於: 大阪大学)
- スキー部 三月五日〜十日 全関西学生スキー選手権大会 全関II部 九位 GS 第六位 青木啓典(II E3) SL 第四位 青木啓典(II E3) (於: 新潟県赤倉)
- 航空部 十一月十九日〜二十五日 全日本学生グライダー 新人競 亭
- アイスホッケー部 五月二十八日〜 ナンパリーグ (於: 大阪球場スケートリンク)
- 空手道部 七月二十七日 全日本系東会空手道選手権 (於: 大阪新中央体育館)
- 航空部 七月二十七日〜二十九日 第二十八回鳥人間コンテスト (於: 滋賀県琵琶湖)
- 漕艇部 八月二十四日〜二十七日 全日本大学選手権大会 (於: 埼玉県・戸田ボートコース)
- 軽音楽部 六月十一日 Jointonコンサート (於: 梅田光明アムホール)
- 共催 大阪樟蔭女子大学 (於: 梅田光明アムホール)
- 技大会 第十五位 小川代蔵(S3) (於: 木曾川滑空場)
- 漕艇部 十月二十九日〜三十一日 関西学生秋季漕艇リーグ戦 男子舵手付きラオアの部 第八位 (於: 加古川)
- ソフトボール部 十一月七日 新人戦 対教大 十五対四で工大快勝 (於: 万博記念公園)
- 将棋部 十月三十一日〜十一月三日 新人戦 準優勝 嶋田裕介(1B2) (於: 大阪経済大学)
- 十二月二十三日 冬の定期演奏会 (於: 梅田光明アムホール)
- 茶道部 十一月二十一日 秋期学外茶会 (於: 鶴見緑地公園内むらさき亭)

- アイスホッケー部 八月二十四日〜二十七日 全日本大学選手権大会 (於: 埼玉県・戸田ボートコース)
- 軽音楽部 六月十一日 Jointonコンサート (於: 梅田光明アムホール)
- 共催 大阪樟蔭女子大学 (於: 梅田光明アムホール)
- 航空部 七月二十七日〜二十九日 第二十八回鳥人間コンテスト (於: 滋賀県琵琶湖)
- 漕艇部 八月二十四日〜二十七日 全日本大学選手権大会 (於: 埼玉県・戸田ボートコース)
- 軽音楽部 六月十一日 Jointonコンサート (於: 梅田光明アムホール)
- 共催 大阪樟蔭女子大学 (於: 梅田光明アムホール)
- 各部活動結果予定
- 茶道部 六月十九日 新人茶会 (於: 総合部室センター5F茶室)
- ウィンドアンサンブル 六月二十五日 サマーコンサート (於: 六十周年記念館)
- クラシックギター部 六月二十六日 独奏会 (於: 六十周年記念館)
- E.S.S. 七月八日 ザ・ディベーターアカデミー 二〇〇第八回大会 (於: ギャラクシーホール)
- 機械工学研究部 八月二十六日・二十七日 川崎ロボット競技大会 (於: 神奈川県川崎市)

りカーショップ  
**田中酒店**  
大阪市旭区大宮3丁目1番41号  
電話 06 (6951) 2953番  
大宮神社西

創業90年  
高級美術・贈答品・記念品  
**田中陶器(株)**  
大阪・千林  
電話 6951-4247  
FAX 6951-5443

五幣のカットは世界一  
その可能性は否定出来ない  
**五幣**  
大宮3-2-15  
TEL 6951-0209

パチンコ  
パチスロ  
**パーラー大丸**  
新装開店  
大工大生のアイドル  
大阪工大正門前通り TEL 6952-2854